

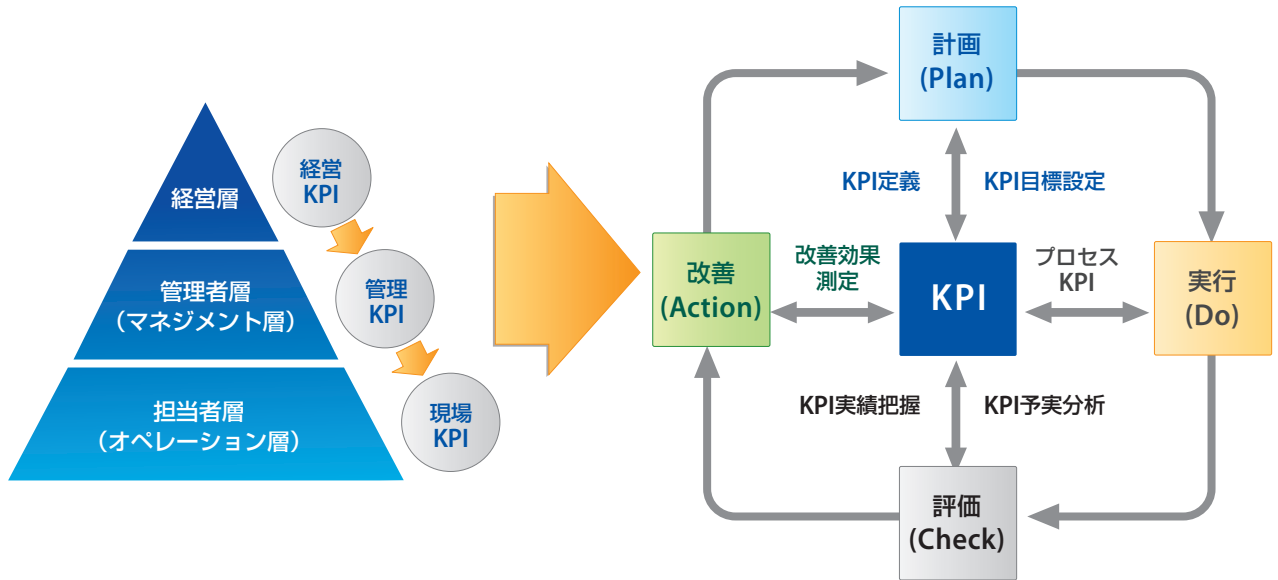
ビジネスインテリジェンス導入支援サービス

ビジネスインテリジェンス (BI) とは、企業が KPI (Key Performance Indicator) を用いて企業活動結果を継続的にモニタリングし、目標の修正や再設定を繰り返しながら戦略を達成していく一連の仕組みです。

理想の BI を実現するには、単なるデータウェアハウスや BI ツールを導入するだけでは不十分です。中長期経営戦略に基づいた目標の設定と評価、改善施策の検討・実施、導入後の環境変化に対応する継続的な運用が重要になります。アビームコンサルティングは BI 導入に関する各種サービスを総合的に提供いたします。

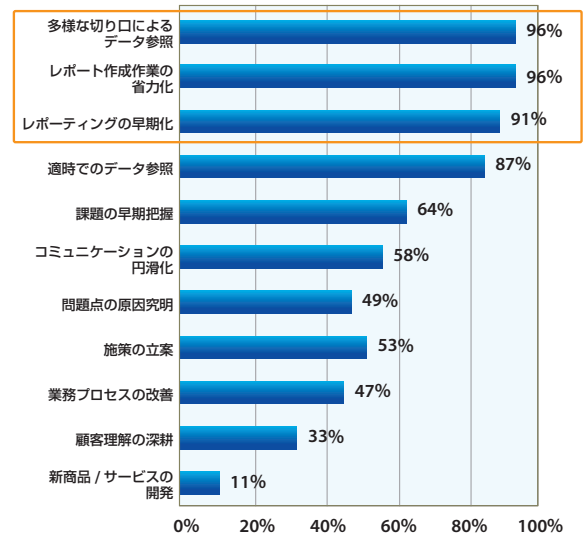
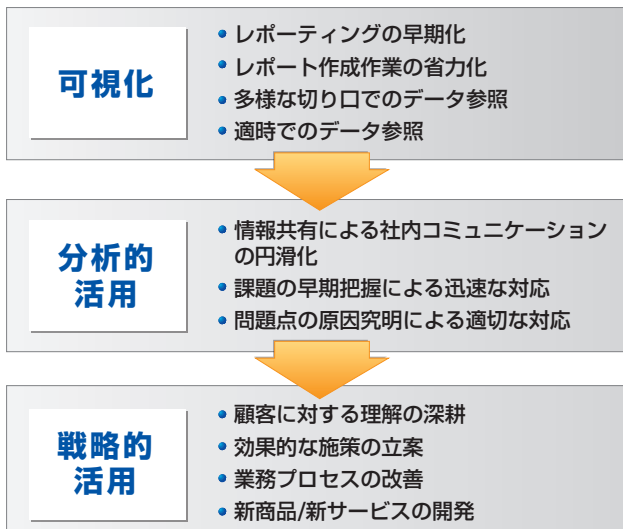
BI 全体イメージと特徴

総合的な KPI 管理では、経営層、管理者層、担当者層の各階層が見るべき KPI が相互に関連付けられ、経営 KPI から現場 KPI までがエンド・ツー・エンドで繋がっていなければなりません。さらに、KPI がマネジメントサイクル (PDCA サイクル) に組み込まれ、経営層、管理者層、担当者層がそれぞれの階層で KPI 管理サイクルを実施することが必要です。BI システムはこの 3 階層それぞれに対して、必要な情報をタイムリーに提供することが求められます。



BI 導入済み企業のかかえる課題

アビームコンサルティングが実施したリサーチによると、BI 導入企業は、その活用度に応じて 3 段階 (「可視化」「分析的活用」「戦略的活用」) に分けることができます。しかしながら、BI 導入済み企業 45 社のうち約 9 割の企業が、自社の「可視化」には効果があったと回答していますが、「分析的活用」「戦略的活用」まで実現できていると考えている企業は全体の約 3 割でした。「分析的活用」「戦略的活用」といった効果を得るには、BI システムの導入だけでなく、活用度向上施策の実施が必要となります。アビームコンサルティングは、システム導入だけでなく、その後の定着化・活用度向上まで総合的に支援します。



BI 導入のロードマップ

BIを導入して定着化させるには、以下 ABeam 方法論の 5 つのフェーズで段階的に実施します。それぞれ戦略、業務組織、システム、人の 4 つの観点から作業タスクを定義します。

■ 典型的な作業タスク (例)

	計画フェーズ	設計フェーズ	開発フェーズ	テスト・移行フェーズ	稼働後サポートフェーズ
戦略	会社としての Vision 整理 主要 KPI 定義 経営課題の把握 主要改革ポイントの明確化 改革ポイントの具体化	投資効果分析			改革効果の算定 投資効果分析 KPI の見直し
業務組織	現行業務・組織の把握 将来業務方針の策定 業績評価との連動方針作成	必要情報の定義 レポート・画面定義 基本業務要件の確認 管理サイクル定義	業務マニュアルの作成	業務リハーサル 業務・組織本番移行	KPI の継続的モニタリング 業績評価への連動
システム	現行システム機能分析 システム基盤要件定義	プロトタイプ検証 BI ツール選定 システム構成設計 システム詳細設計 設計標準の定義	システム開発・設定 テスト計画の作成 移行手順の作成	総合テスト 移行リハーサル 本番移行	機能変更・追加対応 稼働後安定・定着度評価
人	意識改革取り組み方針確認 意識改革活動方針の定義	意識改革活動の実行・評価 教育計画の策定	操作マニュアル作成 トレーナートレーニング	意識改革活動の実行・評価 キーマントレーニング	フォローアップトレーニング

BI 計画フェーズの進め方

企業のおかれている状況によって計画フェーズの進め方は変わりますが、何も整理されていない場合は以下のような手順で BI の構想を策定します。実行課題が明確な場合は、Step 3 の経営課題抽出から開始します。



計画フェーズのポイント

- ・ トップの管理面での政策方針を具現化
- ・ 各階層の管理および戦略実行ニーズに沿った「見える化」の構想作り
- ・ 次の段階で実行する個別事業の方針に沿った管理面諸施策の実行支援
- ・ KPI の体系化

■ KPI 体系化の例

